

高校生・大学生が、被爆から100年に向けたワーストシナリオに陥らないためにできることを提案・発信

若者達が集い、未来に平和をつなぐプロジェクト

「被爆80年人材育成特別プログラム」

日時: 令和7年8月～12月 場所: 広島市内、米国(アイダホ州モスコウ市、ワシントンD.C.)

広島県とへいわ創造機構ひろしま(HOPE)は、被爆・終戦80年の節目にあたり、広島大学等と連携し、「被爆80年人材育成特別プログラム『2045年の世界ー核兵器のない未来のために私たちができることー』」を実施します。

本プログラムでは、これまで被爆の実相を学んできた高校生・大学生の計10名が、被爆から100年を迎える2045年に向け、核兵器を巡って地球が最悪の事態(ワーストシナリオ)と、回避策として何ができるか、を提案し、自分たちと同世代の若者たちに対して発信をしていく予定です。

本プログラムでは、提案内容を検討するために広島市内での専門知識の習得のための研修と米国へのフィールド・トリップを実施予定であり、参加者は多様な意見に触れながら考察を深めます。

本プログラムを通じて、将来を担う若者たちが核兵器のない社会を目指して真摯に取り組む姿を是非取材いただければ幸いです。

開催概要

【事業名】 被爆80年人材育成特別プログラム

『2045年の世界-核兵器のない未来のために私たちができること-』

【事業主体】 広島県、へいわ創造機構ひろしま(HOPE)

※広島大学平和センターや米国アイダホ大学と連携し実施。

【参加者】 10名(大学生3名(広島県在住もしくは広島県ゆかりの若者)、広島県内在学高校生7名)

【趣旨】 被爆者の平和への想いを受け継いだ若者が、核兵器を巡る国際情勢と歴史に関する知識を深め、平和な未来を築く取組を広く国際社会に発信する機会を創出することにより、核兵器を取り巻く厳しい国際情勢の打破及び、若者の専門キャリア形成支援を図る。

【テーマ】 核兵器を巡る状況のワーストシナリオ、そのシナリオを回避するためにすべきこと

【日程】

ア 専門知識の習得(核軍縮・不拡散、人道・規範、国際政治、AIを活用等) ※詳細は次ページ

(ア)時期: 8月25日(月)～8月29日(金)

(イ)場所: 広島大学東千田未来創生センター3階 M301 講義室

(〒730-0053 広島市中区東千田町一丁目1番89号)

イ 国外研修(核兵器問題を巡る国際情勢や政策に関する意見交換) ※詳細は次ページ

(ア)時期: 9月14日(日)～9月21日(日)

(イ)場所: 米国(アイダホ州モスコウ市、ワシントンD.C.内のシンクタンク)

ウ 成果発表会 ※詳細決定次第資料提供予定

(ア)日程: 令和7年12月14日(日)

(イ)場所: エソール広島 研修室 A,B(〒730-0051 広島県広島市中区大手町1-2-1 おりづるタワー10階)

【参考】

被爆・終戦80年特設ウェブサイト(被爆80年人材育成特別プログラム)

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/peace80/action-special-program.html>

<詳細スケジュール>（予告なく変更の可能性があります。取材を申し込まれる場合は取材申込書を提出ください。）

【「ア 専門知識の習得」スケジュール】（場所：広島大学東千田未来創生センター 3階 M301 講義室）

月日	時 間	研修内容	取材
8/25 (月)	1000-1225	オープニング、アイスブレイク 生成 AI の活用について(講師:ソフトバンク株式会社)	可
	1320-1540	世界情勢、安全保障環境、核兵器の使用可能性への理解 (講師:元軍縮会議日本政府代表部大使 高見澤将林氏)	可 ※
8/26 (火)	900-11:30	核兵器使用の直接的影響 (講師:広島大学平和センター教授 川野 徳幸氏)	可
	1230-1500	核兵器が使用された際に起こりうること (元長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)センター長 鈴木達治郎氏)	可
8/27 (水)	1000-1220	アイダホ大学学生とのワークショップのための予行演習(英) (講師:アナリス・ガイズバート氏)	可
	1320-1540	シナリオ作成ワークショップ	可
8/28 (木)	1000-1220	核軍縮と不拡散の現状と課題 (講師:長崎大学多文化社会学部 教授 西田 充氏)	可
	1320-1540	核兵器禁止条約と規範形成の視点 (講師:Peace Boat 共同代表、ICAN 運営委員 川崎 哲氏)	可
8/29 (金)	1000-1140	核軍縮・不拡散の議論の振り返り、シナリオ等の検討	可
	1240-1420	核兵器問題、核兵器廃絶の振り返り、シナリオ等の検討	可

※冒頭 10 分のみ

【「イ 国外研修」スケジュール】（場所：米国アイダホ州モスコー市、ワシントン D.C.内のシンクタンク）

月日	場所	研修内容
9/14(日)	日本からモスコーへの移動	
9/15(月)	米国 モスコー	アイダホ大学職員による講義など
9/16(火)		日米ユース共同ワークショップ (プレゼンテーションやディスカッション)
9/17(水)	モスコーからワシントン D.C.への移動	
9/18(木)	米国 ワシントン D.C.	核兵器関係のシンクタンク訪問・意見交換 ・軍備管理協会 (Arms Control Association) ・カーネギー国際平和財団 ・核脅威イニシアティブ (NTI) ・ハドソン研究所
9/19(金)		※その他エノラ・ゲイ(ウドバー・ハジー・センター※航空宇宙博物館別館)視察を予定
9/20(土)	ワシントン D.C.発 日本帰国	
9/21(日)		

※取材希望を出された社に別途取材可能先を御連絡します。

Mail:chiheiwa@pref.hiroshima.lg.jp

FAX:082-228-1614

(TEL:082-513-2366)

広島県地域政策局 平和推進プロジェクト・チーム 行

『被爆 80 年人材育成特別プログラム』取材申込書

【日 時】令和7年8月～12月

【場 所】広島市内、米国(アイダホ州モスコー市、ワシントン D.C.)

媒 体 名:

貴 社 名:

取材者氏名:

取材希望日程:

※ 希望日時を記載してください。

※ 「ウ 発信」については、詳細が決まり次第別途案内し、取材希望を確認します。

人 数:

TEL:

FAX:

メールアドレス:

カメラ: 有(ムービー/スチール) 無 (○で囲んでください)

生徒へのインタビュー: 希望する 希望しない (○で囲んでください)

※お手数ですがこちらの返信用紙に必要事項ご記入の上、
令和7年8月 25 日(月)9:00 までに送信いただきますようお願い申し上げます。

- 【注 意 点】・ 飛び込み取材は受けることができませんので、ご注意ください。
- ・ スケジュールは変更になることがあります。
 - ・ 駐車場の用意はございません。必要に応じて、各自での確保をお願いします。
 - ・ 参加者への直接の取材については、広島県に事前許可を取った者に限り可能です。また研修の進行に影響を与えるような参加者への直接取材を行うことはご遠慮ください。
 - ・ 各プログラムの様子を撮影した写真を提供します。ご希望の場合は、平和推進プロジェクト・チームまでお問い合わせください。
 - ・ 国外研修の訪問先での取材については、希望されたメディアに個別回答します。
 - ・ 成果発表会は、詳細が決まり次第別途取材案内をします。